

平成 3 1 年度 外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	3 単位	第 3 学年	・ Viva! English Communication II ・ Viva! English Communication II 授業ノート ・ WORD-MEISTER1700 ・ WORD-MEISTER1700 Training Note ③

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・この科目は昨年から継続される科目です。
- ・コミュニケーション英語Ⅱの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という 4 技能の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことをもとに情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。
- ・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということ意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」「相手の伝える」ということを意識して学習しましょう。
- ・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語の発音やリズム、イントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。
- ・教科書の Lesson ごとの題材について深く学び、自分の考えを持ち、それを他者と共有できるようになりましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の 4 技能の到達目標）

【第 3 学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（3 単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連したプリント等の別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
◆絵、写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明することができる。 ◆◇日常的なあいさつができ、身の回りで起こったことや経験した	・ペアワークやグループワーク等のアクティビティへの参加度	◆自分のことや学校、地域のことなどの簡単な紹介文を書くことができる。 ◆簡単な語や基礎的な表現を使いながら、and、but、because などで文と文をつないで、日記や説明文	・定期考査 ・授業プリント ・ペアワークやグループワーク等のアクティビティ	◇決まった表現でゆつくりはつきりと話された天候、時間、物の値段など、日常的に必要なことがらについて、内容を理解することができる。 ◇ゆつくりはつきりと話されれば、駅や空	・授業プリント ・ペアワークやグループワーク等のアクティビティ	◇◆50 語程度の英文を後戻りすることなく一定時間内に黙読して要点を理解したのち、適切なポーズをとめない音読することができる。 ◇簡単な語や表現を使って	・定期考査 ・授業プリント ・ペアワークやグループワーク等のアクティビティ

ことなどについてやり取りをすることができる。		などまとまりのある文章を書くことができる。		港等の短いアナウンスについて自分に必要な情報を聞き取ることができる。		書かれた短い物語や伝記などを理解することができる。	
------------------------	--	-----------------------	--	------------------------------------	--	---------------------------	--

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観 点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識理解
実 施 方 法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 6 (15 時間)	Looking for New Energy 刷新的なエネルギーの発生方法。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ Classroom English を使って、積極的に話そうとする。 ・ ペアワークやグループワークを通じて、生徒同士が互いに協力しながら英語で活動できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Classroom English を学ぶ。 ・ 口頭での英問・英答を行う。 ・ 各セクションの内容に関するワークシートに生徒同士が互いに協力しながら取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Classroom English を使用し、積極的に話そうとしているかどうか。 ・ ペアワークやグループワークを通じて、生徒同士が互いに協力しながら英語で活動しているかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インタビューシート等のプリントを用意し、英問・英答する。 ・ 適宜、机間巡視しながら生徒に英語で声かけをし、その対応を評価する。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した語を用いて、自分の意見や伝えたいことを簡単な文章で書くことができるようになる。 ・ 英語がコミュニケーションのための良いツールである例や理由を簡単な英語で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の内容に関する英問に解答する。また、それに関連した表現活動に取り組む。 ・ 各パートの練習問題を解答する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した語も用いて、自分の意見や伝えたいことを簡単な文で書くことができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 ・ 定期考査にて評価する。
		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 刷新的なエネルギーの発生方法について読み取る。 ・ エネルギー問題について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。 ・ 教科書だけでなく、他の視覚教材等を利用し、知識の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の内容を読み取り、解釈し、理解できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 ・ 定期考査にて評価する。 ・ 小テスト等を活用し、生徒の理解度を頻繁に測る。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係代名詞について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文中で用いられている意味や文法を確認する。 ・ 本文中に出てくる文法事項を理解し、練習問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係代名詞を理解し、練習問題が解けるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査にて評価する。 ・ 小テスト等を活用し、生徒の理解度を頻繁に測る。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (15 時間)	Taylor's Reading Corners ALT のテイラー・ アンダーソンさん が震災後に残した 文庫	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ Classroom English を使って、積極的に話そうとする。 ・ ペアワークやグループワークを通じて、生徒同士が互いに協力しながら英語で活動できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Classroom English を学ぶ。 ・ 口頭での英問・英答を行う。 ・ 各セクションの内容に関するワークシートに生徒同士が互いに協力しながら取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Classroom English を使用し、積極的に話そうとしているかどうか。 ・ ペアワークやグループワークを通じて、生徒同士が互いに協力しながら英語で活動しているかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インタビューシート等のプリントを用意し、英問・英答する。 ・ 適宜、机間巡視しながら生徒に英語で声かけをし、その対応を評価する。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した語を用いて、自分の意見や伝えたいことを簡単な文章で書くことができるようになる。 ・ 英語がコミュニケーションのための良いツールである例や理由を簡単な英語で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の内容に関する英問に解答する。また、それに関連した表現活動に取り組む。 ・ 各パートの練習問題を解答する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した語も用いて、自分の意見や伝えたいことを簡単な文で書くことができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 ・ 定期考査にて評価する。
		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ ALT のテイラー・アンダーソンさんの人生について読み取る。 ・ テイラーさんのこうしたものの意義について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。 ・ 教科書だけでなく、他の視覚教材等を利用し、知識の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の内容を読み取り、解釈し、理解できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 ・ 定期考査にて評価する。 ・ 小テスト等を活用し、生徒の理解度を頻繁に測る。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係副詞について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文中で用いられている意味や文法を確認する。 ・ 本文中に出てくる文法事項を理解し、練習問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係副詞を理解し、練習問題が解けるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査にて評価する。 ・ 小テスト等を活用し、生徒の理解度を頻繁に測る。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 8 (15 時間)	The World's poorest President 「世界一貧しい大統領」ホセ・ムヒカ氏の思い。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> Classroom English を使って、積極的に話そうとする。 ペアワークやグループワークを通じて、生徒同士が互いに協力しながら英語で活動できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> Classroom English を学ぶ。 口頭での英問・英答を行う。 各セクションの内容に関するワークシートに生徒同士が互いに協力しながら取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> Classroom English を使用し、積極的に話そうとしているかどうか。 ペアワークやグループワークを通じて、生徒同士が互いに協力しながら英語で活動しているかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> インタビューシート等のプリントを用意し、英問・英答する。 適宜、机間巡視しながら生徒に英語で声かけをし、その対応を評価する。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> 学習した語を用いて、自分の意見や伝えたいことを簡単な文章で書くことができるようになる。 英語がコミュニケーションのための良いツールである例や理由を簡単な英語で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容に関する英問に解答する。また、それに関連した表現活動に取り組む。 各パートの練習問題を解答する。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習した語も用いて、自分の意見や伝えたいことを簡単な文で書くことができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 定期考査にて評価する。
		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> ホセ・ムヒカ大統領の考え方について読み取らせる。 資源の利用方法について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。 教科書だけでなく、他の視覚教材等を利用し、知識の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を読み取り、解釈し、理解できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 定期考査にて評価する。 小テスト等を活用し、生徒の理解度を頻繁に測る。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		<ul style="list-style-type: none"> 分詞、分詞構文について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文中で用いられている意味や文法を確認する。 本文中に出てくる文法事項を理解し、練習問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 分詞、分詞構文を理解し、練習問題が解けるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査にて評価する。 小テスト等を活用し、生徒の理解度を頻繁に測る。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 (15 時間)	Shitamachi Bobsleigh Project 町工場の技術を詰めたボブスレーが世界にはばたく。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ Classroom English を使って、積極的に話そうとする。 ・ ペアワークやグループワークを通じて、生徒同士が互いに協力しながら英語で活動できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Classroom English を学ぶ。 ・ 口頭での英問・英答を行う。 ・ 各セクションの内容に関するワークシートに生徒同士が互いに協力しながら取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Classroom English を使用し、積極的に話そうとしているかどうか。 ・ ペアワークやグループワークを通じて、生徒同士が互いに協力しながら英語で活動しているかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インタビューシート等のプリントを用意し、英問・英答する。 ・ 適宜、机間巡視しながら生徒に英語で声かけをし、その対応を評価する。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した語を用いて、自分の意見や伝えたいことを簡単な文章で書くことができるようになる。 ・ 英語がコミュニケーションのための良いツールである例や理由を簡単な英語で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の内容に関する英問に解答する。また、それに関連した表現活動に取り組む。 ・ 各パートの練習問題を解答する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した語も用いて、自分の意見や伝えたいことを簡単な文で書くことができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 ・ 定期考査にて評価する。
		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 下町ボブスレープロジェクトについて読み取る。 ・ 町工場の精巧な技術について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。 ・ 教科書だけでなく、他の視覚教材等を利用し、知識の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の内容を読み取り、解釈し、理解できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 ・ 定期考査にて評価する。 ・ 小テスト等を活用し、生徒の理解度を頻繁に測る。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係代名詞について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文中で用いられている意味や文法を確認する。 ・ 本文中に出てくる文法事項を理解し、練習問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係代名詞を理解し、練習問題が解けるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査にて評価する。 ・ 小テスト等を活用し、生徒の理解度を頻繁に測る。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 10 (15 時間)	LION IN THE WORLD ケニアで医療活動 に従事した柴田紘 一郎医師。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ Classroom English を使って、積極的に話そうとする。 ・ ペアワークやグループワークを通じて、生徒同士が互いに協力しながら英語で活動できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Classroom English を学ぶ。 ・ 口頭での英問・英答を行う。 ・ 各セクションの内容に関するワークシートに生徒同士が互いに協力しながら取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Classroom English を使用し、積極的に話そうとしているかどうか。 ・ ペアワークやグループワークを通じて、生徒同士が互いに協力しながら英語で活動しているかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ インタビューシート等のプリントを用意し、英問・英答する。 ・ 適宜、机間巡視しながら生徒に英語で声かけをし、その対応を評価する。
		「外国語表現の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した語を用いて、自分の意見や伝えたいことを簡単な文章で書くことができるようになる。 ・ 英語がコミュニケーションのための良いツールである例や理由を簡単な英語で表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の内容に関する英問に解答する。また、それに関連した表現活動に取り組む。 ・ 各パートの練習問題を解答する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した語も用いて、自分の意見や伝えたいことを簡単な文で書くことができるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 ・ 定期考査にて評価する。
		「外国語理解の能力」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 柴田紘一郎さんの活動について読み取る。 ・ 海外での医療活動について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Summary Chart を利用して、セクションごとに概要を把握する。 ・ 教科書だけでなく、他の視覚教材等を利用し、知識の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文の内容を読み取り、解釈し、理解できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。 ・ 定期考査にて評価する。 ・ 小テスト等を活用し、生徒の理解度を頻繁に測る。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮定法について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文中で用いられている意味や文法を確認する。 ・ 本文中に出てくる文法事項を理解し、練習問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仮定法を理解し、練習問題が解けるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査にて評価する。 ・ 小テスト等を活用し、生徒の理解度を頻繁に測る。